

第4回定例町議会



工藤 勇 議員

質問

国の省庁が法律で義務付けられている障がい者の雇用を、42年間にわたり水増

奥尻町における障がい者雇用の実態は

障がい者雇用の実態は

ししていたことが報道され、国の行政に対する不信感を招く結果となったが、奥尻町内における国保病院等関係機関を含む役場庁内の障がい者の雇用実態についてお答え願います。

さらに今後の障がい者雇用について、町長の認識はどのように考えていますか。

一般質問

平成30年12月11日に「第4回奥尻町議会定例会」が開会され、2名の議員から一般質問がありましたので、その質疑応答の概要について紹介します。

基準をクリアしている状態

新村 卓実 町長

答弁

関係機関を含む奥尻町の障がい者の雇用実態については、必要な人数は充足しているため、基準をクリアしている状態です。

今後の障がい者雇用については、障がい者がごく普通に地域で暮らし、地域の一人として共に生活ができる「共生社会」の実現の理念のもと、町が率先して障がい者採用を実行していくことが重要だと認識しています。

基幹産業（漁業）の不振 に対する認識と対策

養殖漁業の今後の
取り組みは

工藤 勇 議員

質問

奥尻町の基幹産業である漁業は不振にあえいでいる現状で、そんな中、漁業者の方々とお話しする機会があり、「養殖漁業を推進すべき」「現在試験的に進めている養殖漁業の拡充とさらなる支援」そして「加速化」を訴えており、数少ない若い後継者を心配していました。

しい業績を上げている「オホーツク海海域」の漁業者の例のように、奥尻町においても放流事業や現在試みられている養殖漁業を、更に積極的に推進しなければならぬと考えますが、今後の取り組みについてお答え願います。

バックアップし
ていきたい

新村 卓実 町長

答弁

放流事業については、ひやま漁協での広域事業としてナマコ・ニシン等の放流を行っており、奥尻支所ではアワビ・ウニ等の放流に



はアワビ・ウニ等の放流に
取り組んでいる現状ですが、
生産額向上や主幹漁業を補
完するうえでも積極的に推
進しなければならぬと認
識しています。

漁業者においては、新たなアワビ養殖に向け試験に取り組み、また日本海漁業振興緊急対策事業において取り組みられたウニカゴ養殖を引き続き行う予定となっており、さらにノリ養殖試験を漁協、企業、奥尻町で協力して取り組み予定で、町としても今後の養殖事業に対しては、できる限りバックアップしていきたい。

ふるさと納税寄付金を教 育への積極活用について

ふるさと納税の
教育活用を

工藤 勇 議員

質問

奥尻町のふるさと納税は統計を見ると平均4〜5千万円の金額になり、町にとつては大きな金額となっています。

難しい状況だが
検討していく

新村 卓実 町長

答弁

全道的に公設塾の設置が議論されている状況は把握していますが、保護者や生徒からのニーズ、財政負担や人材確保、受入態勢の構築など課題を全て解消しなければ設置は難しいと判断

育環境を整えてやるべきと考え、ふるさと納税の寄付金を活用して公営の科目限定による学習塾の開設が必要と思うが考えを聞きかせてください。

していますが、今後も検討していききたい。

学習塾がない島の環境を補う活動が活発化している

石島 孝司 教育長

【答弁】

現在、奥尻高校が中心となり「まなびじま奥尻プロジェクト」を推進し、その一環として「イングリッシュサローン」や「数学寺子屋」など、学習塾がない島の環境を補う活動が活発化しており、町としても会場の無償提供など支援しています。

また、学習支援ツールの「スタディサプリ」を導入し、授業の改善や教科指導等に活用され、生徒の学力の向上が図られていると聞いております。

越波による通行障害の対応と対策



越波への対策は

水野 諭 議員

【質問】

本町は、荒天時において主要道路で越波状態が続き、石などが飛散し非常に危険な状態や通行止めを余儀なくされ、地域住民にと

りましては、迂回路の通行や通学・通勤に大変不便をきたすとともに救命救急活動にも支障をきたしている状況にあります。

先般奥尻町地域強化計画案が示されましたが、その中には道道・町道の整備、バス路線の整備等が明記され、また各町内会からも要望があるとおり、強化計画の観点からも様々な自然災害に対しての対応が必要であります。

町民が安全に安心して通行できることを願うことから、越波による対応や対策状況、危険箇所状況、越波による被害状況及び通行止めの状況についてお答えください。

消波ブロックを設置

新村 卓実 町長

【答弁】

越波による対策は、主に消波ブロックの設置により解消を図っています。

対応については、湯浜地区及び宮津地区は対策を継続、稲穂地区は今年度完了予定となっております。

対策が必要と判断された箇所は、湯浜地区・稲穂地区・宮津地区・長浜地区であります。

被害報告は、近年では平成28年12月に宮津地区で道

路護岸の損傷が発生しています。

越波による通行止めは、平成29年度長浜区間において2回、今年度は長浜区間・西海岸において6回行われております。

